

経済動向調査レポート

令和2年 第4四半期

(調査対象：令和2年10月～12月)

福崎町商工会

令和3年2月

【目次】

I. 経済動向のポイント	2
II. 兵庫県の経済・雇用情勢	3
1. 概況（全体の状況）	3
2. 県内の主要業種の概況	7
3. 地域の概況	8
III. 景況調査	14
1. 景況調査について	14
2. 概況（全業種）	15
3. 業種ごとの集計	18
①製造業（有効調査数：161件）	18
②卸売業（有効調査数：43件）	19
③小売業（有効調査数：58件）	20
④サービス業（有効調査数：63件）	21
⑤建設業（有効調査数：79件）	22
⑥不動産業（有効調査数：29件）	23

○本レポート作成の目的

地域の経済・消費動向の現状を把握し、その情報を提供することで小規模事業者が経営方針を明確にし、経営分析および事業計画の策定に有効活用できるようにし、小規模事業者の売上や利益の増進に繋がるなど経営基盤の強化につなげることを目的とします。

○本レポートの作成方法

福崎町商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に他の調査や情報とも比較してレポートを作成します。

I. 経済動向のポイント

【1】兵庫県の経済・雇用情勢

① 兵庫県の経済・雇用情勢は、持ち直しの動きが見られるが、厳しい状況が続いている。

景況等・需要・生産については、持ち直しの動きが見られるものの、雇用は横ばいとなっている。但し、倒産件数は前年を下回っており、政府の経済対策の効果が出ている。

② 県内の主要業種は、飲食店・飲食料点小売業は減収だが、その他の業種に改善兆し。

飲食店・飲食料点小売業は減収傾向にあるが、不動産業・金融業・電子部品デバイス電子回路製造業では、需要拡大や積極的な投資が見られる。

③ 各県民局・県民センターを代表する業種には、一部に改善の兆しがある。

福崎町を管轄する中播磨県民センターでは、「各種商品小売業」「金属製品製造業」の2業種について分析しており、売上高が伸びている分野が一部に確認できる。

【2】景況調査

① D.I（ディフュージョン・インデックス）による分析。

D.Iとは景況の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示しており、地域別・業種別の分析指標としている。

② 2020年10月～12月期実績では、全地域で改善したが、次期は低下の予想。

朝来・神崎地域の業況D.Iは20.93ポイント上昇の▲27.91となっており、2021年1月～3月期予想では、4.65ポイント低下の▲32.56である。また、福崎町商工会の業況D.Iは低下しており、2021年1月～3月期予想では若干の上昇が期待できるが、依然として厳しい。



③ 製造業・卸売業・小売業・サービス業・建設業・不動産業の6業種は、低下の予想。

但陽信用金庫の取引先全地域の6業種（製造業・卸売業・小売業・サービス業・建設業・不動産業）の調査では、2020年10月～12月期実績では全地域・全業種で改善したが、2021年1月～3月期（予想）の全地域・全業種における予想業況D.Iは、若干の低下と予想している。

【3】中小企業診断士からのコメント

新型コロナウイルス感染症の影響で非常に厳しい状態にあり、持ち直しのペースが鈍化している。一方で、コロナ禍に上手く対応しながら、自社のビジネスモデルを柔軟に変更することで、新たな売り先を確保した事業者もある。その為、今回のレポートを通じて、様々な業種の取り組み事例を参考にしたい。

(令和3年2月8日 中小企業診断士 荒木慎吾氏)

II 兵庫県の経済・雇用情勢（「兵庫県の経済・雇用情勢」（令和3年1月27日）から引用）

1. 概況（全体の状況）

本県の経済・雇用情勢は、持ち直しの動きが見られるものの、厳しい状況が続いている。景況等…企業の業況判断は、持ち直しの動きが見られるものの、足もと、先行きとも依然として厳しい。

需 要…個人消費は、持ち直しに足踏みの動きも見られる。

輸出は、持ち直している。設備投資は、増加計画にある。

生 産…生産は、持ち直している。

雇 用…有効求人倍率は、横ばいとなっている。賃金は弱い動きとなっている。

金 融…倒産件数は、前年を下回った。

主要指標の推移

①景況

現状（良い－悪い）構成比（%ポイント）

区 分	R2.3月	R2.6月	R2.9月	R2.12月(予測)	R3.3月(予測)
全産業	▲9	▲32	▲31	▲19	▲22
大企業	▲2	▲20	▲22	▲9	▲11
中堅企業	▲9	▲28	▲21	▲17	▲19
中小企業	▲15	▲42	▲39	▲26	▲30
うち製造業	▲17	▲37	▲37	▲23	▲23
うち非製造業	0	▲27	▲23	▲15	▲22

（出所）県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

②需要

項 目	30年度	R1年度	R2.8月	9月	10月	11月	12月
商業販売額：億円 （前年度比増減率%）	17,600 (▲0.8)	17,753 (+0.9)	1,627 (+6.0)	1,455 (▲9.5)	1,441 (+8.1)	1,463 (+3.2)	－ (－)
乗用車販売台数：台 （前年度比増減率%）	176,883 (+1.1)	167,298 (▲5.4)	10,160 (▲18.8)	15,370 (▲18.7)	13,707 (+37.2)	13,754 (+7.8)	12,733 (+11.3)
新設住宅着工数：戸 （前年度比増減率%）	31,774 (▲5.0)	31,567 (▲0.7)	2,249 (▲6.3)	2,502 (▲22.5)	2,464 (+8.4)	2,850 (+13.4)	－ (－)
神戸港輸出額：億円 （前年度比増減率%）	58,596 (+2.9)	53,652 (▲8.4)	3,697 (▲12.9)	3,981 (▲10.4)	4,515 (▲0.3)	3,992 (▲9.6)	4,926 (+5.5)

（出所）商業動態統計（経済産業省）、新車登録速報（日本自動車販売協会連合会兵庫県支部）、軽自動車新車届出状況（兵庫県軽自動車協会）、住宅着工統計（国土交通省）、神戸港貿易概況（神戸税関）（商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース）

項 目	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度(計画)
設備投資額 前年度比増減率：%	+24.4	▲8.1	+0.8	▲1.2	+16.6

（出所）県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

③生産

項 目	30 年度	R1 年度	R2.7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
鉱工業生産指数：H27=100 (前月比増減率%)	103.9 (+0.7)	103.6 (▲0.4)	90.0 (+2.6)	90.1 (+0.1)	90.4 (+0.3)	93.1 (+3.0)	96.5 (+3.7)

(月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較) (出所) 兵庫県鉱工業指数(県統計課)

④雇用

項 目	30 年度	R1 年度	R1.7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
有効求人倍率(季節調整値)：倍	1.45	1.38	0.98	0.93	0.93	0.93	0.93
新規求人数(原数値)：人 (前年度比増減率%)	36,004 (+3.8)	33,517 (▲6.9)	25,631 (▲28.4)	24,397 (▲29.2)	29,507 (▲12.0)	28,526 (▲24.2)	25,984 (▲24.6)
現金給与総額：円 (前年度比増減率%)	304,738 (+2.2)	312,795 (+2.7)	341,807 (▲9.1)	250,231 (▲6.0)	255,490 (▲2.4)	254,675 (▲5.6)	279,140 (▲5.6)

(有効求人倍率の年度値は原数値、現金給与総額の年度値は年平均) (出所) 一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

⑤金融

項 目	30 年度	R1 年度	R2.8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
企業倒産件数：件 (前年度比増減率%)	427 (▲8.6)	471 (10.3)	45 (+15.4)	28 (▲37.1)	34 (▲17.1)	40 (▲7.0)	30 (▲37.5)
企業倒産負債総額：億円 (前年度比増減率%)	578 (▲8.6)	498 (▲13.9)	60 (+73.0)	136 (+375.4)	28 (▲54.6)	50 (+85.4)	15 (▲14.4)

(出所) 兵庫県企業倒産状況(東京商工サーチ神戸支店)

(参考1)全国景気の現状についての内閣府のコメント

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。

- ・個人消費は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。
- ・設備投資は、下げ止まりつつある。
- ・輸出は、増加している。
- ・生産は、持ち直している。
- ・企業収益は、感染症の影響により、大幅な減少が続いているものの、総じてその幅には縮小がみられる。
- ・企業の業況判断は、非製造業を中心にこのところ慎重さがみられる。
- ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

(令和3年1月22日 内閣府「月例経済報告」)

(参考2)県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント

管内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状態にあり、足もとでは持ち直しのペースが鈍化している。

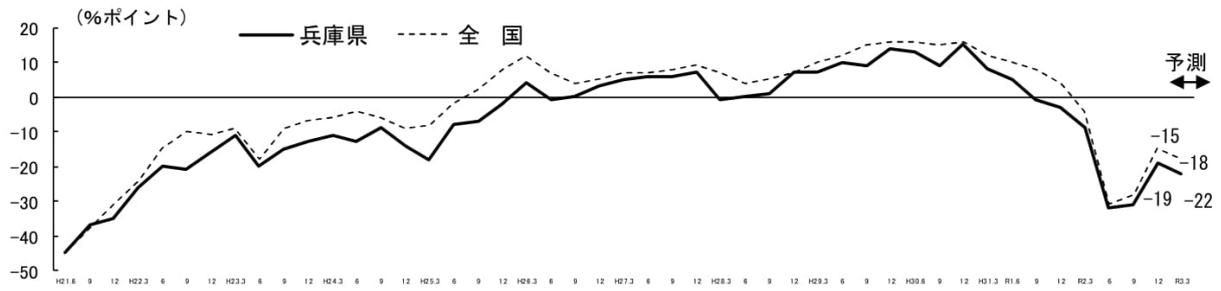
個人消費は、感染症の再拡大の影響から、足もとでは持ち直しの動きが一服している。設備投資は、高水準で推移しているものの、引き続き慎重化の動きもみられている。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。輸出は、持ち直している。

こうした中、生産は、徐々に持ち直している。一方、労働需給は、有効求人倍率が1倍を下回るなど、感染症の影響により、緩んでいる。雇用者所得は、減少している。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を下回って推移している。

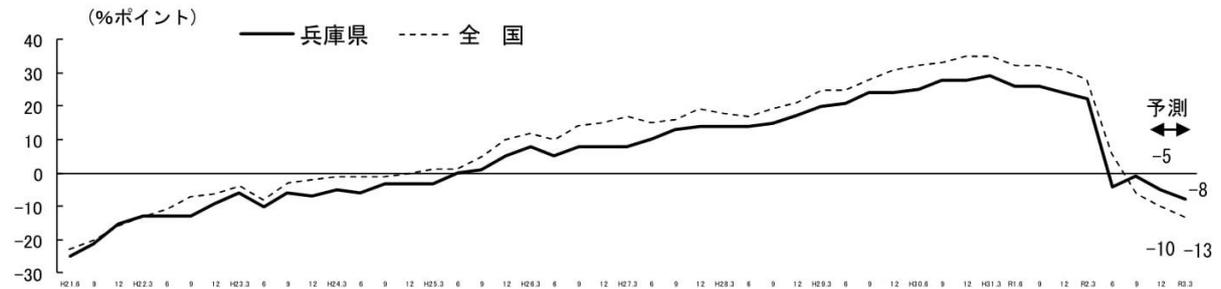
(令和3年1月8日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

日本銀行神戸支店県内企業短期経済観測調査結果の推移

業況判断D I (良い-悪いの推移)



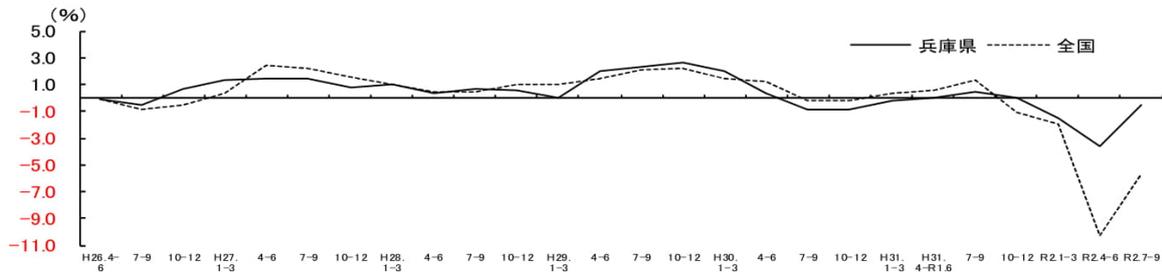
雇用人員判断D I (不足-過剰の推移)



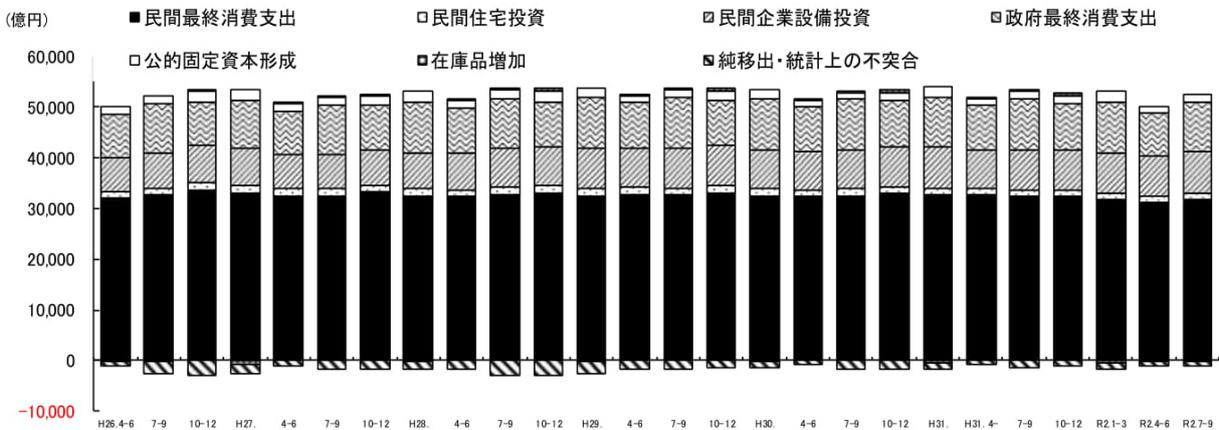
出所：令和2年12月全国・県内企業短期経済観測調査(日本銀行、同神戸支店)

GDP ⇒ 実質GDP (R2.7~9期) は、民間住宅投資及び民間企業設備投資がプラスで推移したものの、民間最終消費支出、政府最終消費支出がマイナスで推移し、対前年同期比0.5%減となった。

四半期別GDP(実質)増減率



四半期別兵庫県GDP(実質)



出所：四半期別GDP速報(内閣府)、四半期別県内GDP速報(県統計課)

兵庫県・四半期別GDP(実質)(億円、増減率%)

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
GDP(実質)	201,737	203,000	207,396	207,577	207,562
前年度比	1.1	0.6	2.2	0.1	0.0

	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-R1.6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9
GDP(実質)	51,477	51,730	52,213	50,802	51,716	51,705	51,453	48,982	51,479
前年度比	▲0.9	▲0.9	▲0.2	0.0	0.5	0.0	▲1.5	▲3.6	▲0.5

兵庫県・四半期別GDP(名目)(億円、増減率%)

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
GDP(名目)	208,294	209,378	213,288	213,097	213,445
前年度比	2.6	0.5	1.9	▲0.1	0.2

	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-R1.6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R1.10-12	R2.1-3
GDP(名目)	52,601	53,882	53,101	52,855	52,517	54,214	52,641	50,811	52,024
前年度比	▲1.1	▲1.0	0.0	0.2	0.9	0.6	▲0.9	▲3.9	▲0.9

注1) 今後公表される年度確報値とのあいだに若干の差異が生じる場合がある。

また、推計精度をより高めるため、各計数は過去にさかのぼって変更されることがある。

前年度比は原数値の増減を示す。

注2) 数値は、平成23年基準値となっている。

注3) 29年度までの年度数値は「県民経済計算」(県統計課)

2. 県内の主要業種の概況

業種	概況
不動産業	<p>外出自粛により、一時物件の引渡しが2~3ヶ月遅れたが、現在では供給が追いついてきた。販売促進ができなかったことで広告宣伝費が削減され、経費削減となった。</p> <p>足もとでは、万博関連で職人が減っていることに加え、働き方改革で土曜が休みになる等の影響があり、人件費、資材価格とも高止まりの状況。今後の人気エリアは、都市部から郊外へといった動きが進む一方、都心部は人気が続くと思われる、今まで以上に二極化していくと思われる。</p>
飲食店	<p>郊外店舗の売上は前年度並み水準まで回復しているが、都市部の店舗はテレワークによる労働人口減少等もあって苦戦しており、全体では前年同期比5%程度の減収となっている。4月末から開始したテイクアウトは、現在1割強の売上を占め、客単価がイートインと比較して高く、従来の客層と少し違った層が掘り起こせている。</p> <p>主力業態は昼間の売上が中心であることから、感染再拡大に伴う夜</p>

	間の外出自粛の影響は比較的少ない。
金融業	<p>11月実施の10-12月期の景況調査では、全体の景況判断は2四半期連続の改善となったが、依然厳しい水準にある上、足もとの感染再拡大に伴い、先行きの不透明感が強まっている。取引先の資金需要は、秋口までは当面の資金繰り確保のための需要が多かったが、最近では、コロナ禍を踏まえたビジネスモデルの変更・多角化のための前向きな投資も増えている。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大、外出自粛による対面での営業が難しい時期には、県内企業にDMやメール等で提供できるサービスを案内するなどきめ細かくアプローチを行い、取引に繋がるなどの成果があった。リアル（対面）とデジタル（非対面）を融合し、コロナ禍での新たな営業スタイルを確立し、取引先の接点を強化していく。</p>
飲食料品 小売業	<p>テレワーク、巣ごもり需要により住宅街の店舗は売上が微増となっている一方、ホテル・学校、空港内の店舗、イベント会場の周辺等の店舗は前年比で減収が続いている。観光地の店舗についても、GoToキャンペーンでの回復はみられるが、依然として厳しい状況である。駅前・繁華街の店舗は、GoTo トラベルの地域共通クーポンに伴う売上を除くと減収となっている。</p> <p>雇用について、夜間スタッフや郊外店舗で人手不足が継続している。</p>
電子部品 デバイス電子回路 製造業	<p>上半期の業績は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う自動車メーカーの生産調整等による受注減や米中貿易摩擦への懸念などにより当初計画を下回った。足もとでは、自動車関連の回復に伴い持ち直しの動きではあるが、依然、不透明感が強い。</p> <p>半導体は様々な業種の製品に組み込まれ、今後も需要拡大が見込まれることから、会社としても大規模な投資を進めていく方針。</p>

令和2年12月 兵庫県産業労働部調査

3. 地域の概況

地域	業種	概況
神戸	観光サービス業	夏以降、修学旅行客の利用もあり、売上は前年同期比7割程度に回復していたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大や年末年始のGoToキャンペーン停止を受け、ホテル提携プランのキャンセルが多く出ている。クリスマス予約は相応にあるが、大晦日・元日については、公共交通機関の終夜運行の停止やカウントダウン自粛の影響を受け、減少している。年明け以降の先行きは新型コロナの感染状況に左右される。
	ゴム製品製造業	10～12月の売上高見込みは7～9月比10%増、前年同期比5%減と、以前に比べると回復傾向にあったが、新

		<p>型コロナウイルス感染症の再拡大により回復が頭打ちになりつつあり、最近の感染再拡大を受けて先行きは不透明な状況になりつつある。一方、原油価格の下落に伴う原材料価格の低下はプラスに働いている。</p> <p>設備投資を必要性の薄いものから見直し、前年度比4割減とする計画である。</p>
阪神南	設 備 工 事 業	<p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴う企業収益の悪化や景気の先行きの不透明感から、民間設備投資が停滞している。IT インフラの整備を進める企業も少なくないが、感染収束の兆しが見えるまで低調な動きが続く見通しである。</p> <p>9~12月は、売上は順調に推移しているが、新型コロナウイルスの影響を受け、民間設備投資が停滞し、新規の受注が激減している。今後は、ワクチンの安全性と有効性が確認できれば回復が期待される。</p>
	金 融 業	<p>新型コロナウイルスの影響による減収、仕入停滞、外出自粛による飲食店への影響等の業況悪化に伴う借入相談は続いている状況であり、保証協会の実質無利子・無担保融資の申込件数は累計12,000件を超えている。</p> <p>経済活動の回復の兆しの一部見えてきていたが、第3波に伴う感染再拡大により、売上の回復にはまだ時間がかかることが予想される。今後は、資金繰り悪化に伴う条件変更や倒産等が増えてくることも見込まれるため、取引先の実態を把握し、コンサルティング等を強化して支援を行っていく。</p>
阪神北	輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	<p>夏頃の落ち込みからは売上・利益共に回復しているものの、新型コロナウイルスの感染再拡大により、先送りとなる案件が散見され、昨年比では利益1割減となる等、依然として厳しい状況が続いている。主に自動車分野におけるコントロールケーブルの開発・製造により他社との差別化を行い、新規顧客の獲得につなげたい。</p> <p>海外企業への展開を進めており、今後の米中関係の動向によっては大きく影響を受けることを懸念している。</p>
	非 鉄 金 属 製 造 業	<p>世界的なテレワークの普及によるPC・データセンサー等の需要の拡大により、半導体関連製品が堅調に推移している。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により落ち込んでいた自動車・家電関連製品も回復基調にある。こうした状況のもと、今期の売上高は対前年同期比で約30%増と大幅に伸びる見込みであり、景況は好調である。</p>

		<p>今後は AI 及び IoT を活用した生産性の向上に取り組む予定である。</p>
東播磨	業務用 機械器具 製造業	<p>以前は新型コロナウイルス感染症の影響が売上や受注等にはあまり見られなかったものの、足もとでは上期に予定していた工事の後倒しの影響等が出てきている。現在は最新鋭の実証設備において、新開発技術の長期的な信頼性検証に取り組んでいる。</p> <p>採用活動については、今年度から開始した WEB を活用した取り組みを来年度も継続していく予定。</p>
	鉄鋼業	<p>部門によって差はあるが、全体的には現在の景況感及び見通しはさほど良くない。上半期に比べると需要や売上が戻ってきてはいるものの、前年度に比べると減少している状態が続いている。</p> <p>設備投資を検討している部門もあったが、いずれも老朽化施設の更新等の最低限にとどまった。また、円高によって売上の減少や、原材料価格の高騰の影響を受けている部門もある。</p> <p>雇用は概ね適正であるが、部門によってはエンジニアが不足気味となっている。</p>
北播磨	宿泊業	<p>ビジネスユースやゴルフ関連の宿泊で 9-11 月は持ち直していたが、感染再拡大に伴い年末年始の宴会やイベントでの利用がなく、来年 1-3 月の宿泊予約も現段階では非常に厳しい状況となっている。雇用調整助成金を活用し、雇用を維持しながら新型コロナウイルスの終息、経済の回復を待つしかない状況。延期になっていた市の宿泊者への補助事業が来年始まると聞いているので期待したい。</p>
	木製品 製造業	<p>繁忙期に入っており多忙であるが、年間通して考えると新型コロナウイルス感染症の影響を受け、減収となる見込み。一方で、主要材料の仕入価格が下がったことや出張自粛になどの経費削減により、対昨年同月比で利益は若干増加している。経済状況が不透明であることから今後の業況予測は難しいと感じている。</p> <p>来春の採用については、7 名内定を出しており計画通りの採用が出来ている。</p>
	介護サービス	<p>緊急事態宣言時は利用を控える傾向があったが、感染者が再び増加している現状下においては、利用を控える方が少なくなってきており慣れを感じる。</p> <p>コロナ禍の中、県の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業交付金を申請し、リモート面会できるよう設</p>

		<p>備の導入を行った。今後遠方の方もリモートにより面会の機会が増えればと期待している。</p> <p>毎年この時期は、定年退職などで人員が減り人員不足となる。4月の新入職員入社までサービスの質を維持しつつ現状の人員で助け合いながら努める。</p>
中播磨	各種商 品業 小 売	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、物産展等のイベントが抑制されているほか、婦人服、服飾雑貨の Apparel 関係等の回復も天候次第で左右されるため、売上高の回復が見通せない状況が続いている。食料品は前年並で堅調であり、高級家電やインテリアなど巣ごもり需要関係の売上が伸びている。全体として客数は減少しているものの、富裕層向けイベントの再開により客単価は増加傾向にある。</p> <p>雇用については、販促部門はやや不足気味であるが、店内でローテーションを行い、臨時社員の人員整理等、人件費の削減と経費の見直しを行っていく。</p>
	金属製 品業 製 造	<p>感染症拡大の影響で営業活動に制約を受け、油圧機器関係の受注量が減少している。一方で、車輛関係の既存取引の実績により、新たなプロトタイプ製品の依頼があった。県内の企業では実績がまだない分野のため、先端産業進出の足掛かりにしたい。</p> <p>研究を続けている試作品の製造開始に向け、令和3年度中に契約を締結させたい。</p> <p>設備投資は、新産業創造研究機構の助成金を活用し、ロボットを導入して作業の自動化を図るとともに、コロナ禍収束後の受注拡大に対応出来るよう準備している。</p>
西播磨	観 サ ー ビ ス 業 光	<p>8~11月の道の駅の売上は前年を超えているなど、夏頃から景況感の良い状況。宿泊施設についても、GoToキャンペーンの影響で高価な部屋から予約が埋まるため客単価は上がっている。一方、宴会は年末含め予約がなく苦戦している。12月上旬にこたつで寝転びながら流星群を眺めるという企画をし、3日間で90人程の参加があるなど大変好評であった。これからも新たな企画を練り、少しでも集客を図っていきたい。</p>
	食 料 品 業 製 造	<p>素麺の商品代金を3%値上げしたものの出荷量は変わらず増収となっている。一方で、レストランについては、個人客は去年の8割の入りであるが、団体客は9割減であることから景況感はやや良くないと感じている。来客減をカバー出来るほどではないが、ネット通販が昨年比で5、6割伸びており好調である。コロナ禍の収束時期</p>

		<p>と1月以降の天候が素麺出荷にどのように影響するかが一番の懸念事項である。</p> <p>今後、リモートワーク導入に向けた社内のIT環境整備を考えている。</p>
但馬	繊維工業	<p>7月以降は新型コロナウイルス感染症の目立った影響は特になく、通常操業を行っており、景況感は良くも悪くもない。</p> <p>雇用人員に関しては、定年退職者の代替人員を募集しているが、熟練した人員は確保が難しい状況にある。新卒採用に関しては、来年4月に高卒1名を採用予定である。但馬地域内の取引先において、従業員減少や後継者がいない企業が多くなっている。</p>
丹波	家具・装備品製造業	<p>景況感は悪い。落ち込んでいた受注は徐々に回復傾向にはあるものの、毎月の売上は前年を下回っている状況が続いており、年間売上もおおよそ1割減の見通し。</p> <p>感染防止策を強化するため、性能が良いサーモグラフィーなどを導入したいが高額であるため、支援策の充実を期待したい。</p> <p>雇用調整助成金を活用してなんとか雇用を維持している状況である。</p>
	その他業	<p>緊急事態宣言の解除以降、釣り業界は新規や復活組などによる釣り人口が増加している。例年は売上が落ち込む12月になっても好調が継続している。オフシーズンとなる1~3月も釣りに出かける人が多くなるのではないかと予測している。</p> <p>需要に対して供給が全く追いついていない状況で、在庫切れで欠品となることも多くなっている。海外工場での生産は回復してきているが、既にフル稼働の状況のため、発注先を広げるなど今後増産を図る。</p>
淡路	金融業	<p>取引先企業では、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動の停滞が見られ、景況感は悪く設備投資などの動きは見られない。融資については、新型コロナウイルス関連の低金利融資などが、件数・金額とも大幅に増加した一方、消費者向けは消費マインドの低下などにより減少が続いている。</p> <p>また、雇用では業種を問わず技術職の人手不足感が高まっており、人材確保に苦慮している。</p>
	電機器具製造業	<p>民生用電池は中国勢や韓国勢の台頭により厳しい状況にある中、新型コロナウイルス感染症の影響で、巣ごもり需要によるゲーム機や在宅勤務でのPC、医療機器</p>

		<p>など充電用電池を使用する各種機器の需要が増加したこともあり、景況感は一部改善してきている。この状況は、令和3年春頃までは続くものと想定している。</p> <p>これまで既存設備の修繕が中心であった設備投資については、令和3年度以降、前向きに方針転換を図っていく。</p>
--	--	--

令和2年12月 県民局・県民センター調査

Ⅲ. 景況調査

Ⅰ. 景況調査について

○『D.I (ディフュージョン・インデックス)』による分析

D.I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、「良い」20%－「悪い」30%＝－10%となり、D.I. 値は－10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

○引用する調査書と有効回答数について

本レポートの作成にあたり、但陽信用金庫が四半期毎に実施する「景気動向調査」の調査結果を引用しています。

(対象期間内における有効回答数)

	エリア	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
景気動向調査 (但陽信用金庫)	取引先全地域	433 件					
	東播磨地域 ^{※1}	179 件					
	姫路地域 ^{※2}	148 件					
	朝来・神崎地域 ^{※3}	86 件					
景気動向調査 ※業種別調査 (但陽信用金庫)	取引先全地域	161 件	43 件	58 件	63 件	79 件	29 件
	東播磨地域 ^{※1}	66 件	16 件	21 件	25 件	31 件	20 件
	姫路地域 ^{※2}	50 件	23 件	21 件	19 件	28 件	7 件
中小企業景況調査 (福崎町商工会)	-	1 件	0 件	2 件	3 件	1 件	0 件

※1…加古川市、高砂市、稲美町、播磨町

※2…姫路市

※3…朝来市、神河町、市川町、福崎町

○業種の分類について

本レポートでは、飲食・宿泊業は「サービス業」とあわせて集計しています。

2. 概況（全業種総合）

《但陽信用金庫》

概況（全業種）	(433社) 全地域			(179社) 東播磨地域			(148社) 姫路地域			(86社) 朝来・神崎地域			
	2020年7月～9月期	2020年10月～12月期(今回)	2021年1月～3月期(予想)	2020年7月～9月期	2020年10月～12月期(今回)	2021年1月～3月期(予想)	2020年7月～9月期	2020年10月～12月期(今回)	2021年1月～3月期(予想)	2020年7月～9月期	2020年10月～12月期(今回)	2021年1月～3月期(予想)	
業況 D.I.	▲46.01	▲35.80	▲37.88	▲39.66	▲36.31	▲37.99	▲51.32	▲37.84	▲38.51	▲48.84	▲27.91	▲32.56	
売上額 D.I.	▲32.12	▲24.07	▲32.02	▲30.17	▲30.90	▲32.02	▲40.13	▲21.62	▲29.25	▲27.91	▲12.79	▲36.05	
収益 D.I.	▲33.49	▲20.83	▲29.70	▲34.64	▲27.53	▲32.58	▲35.53	▲21.62	▲27.89	▲31.40	▲9.30	▲31.40	
資金繰り D.I.	▲4.78	▲0.92	▲2.33	▲6.15	▲3.35	▲4.47	▲2.63	▲0.68	▲2.76	▲10.47	▲5.81	▲3.49	
前年比残業時間 D.I.	▲30.30	▲22.86	▲20.60	▲25.14	▲22.35	▲22.91	▲39.47	▲20.27	▲19.73	▲25.58	▲24.42	▲18.60	
人手過不足 D.I.	▲6.64	▲9.95	▲10.93	▲5.62	▲7.82	▲8.99	▲11.92	▲17.01	▲18.49	5.81	▲2.33	▲3.49	
前年 同月比	売上額	▲52.62	▲43.65	-	▲41.34	▲37.43	-	▲66.45	▲47.30	-	▲55.81	▲48.84	-
	収益	▲53.76	▲43.19	-	▲41.90	▲39.11	-	▲65.79	▲45.27	-	▲60.47	▲50.00	-

[2020年10月～12月期実績]：全地域で改善

当期の全地域・全業種における業況 D.I は▲35.80 となり、前期比 10.21 ポイント上昇しました。東播磨地域は前期比 3.35 ポイント上昇の▲36.31、姫路地域は 13.48 ポイント上昇の▲37.84、朝来・神崎地域は 20.93 ポイント上昇の▲27.91 となるなど、改善が見られます。人手過不足 D.I は▲9.95 と 3.31 ポイント低下し、地域別でも全ての地域でマイナスとなっています。業種別では、全業種において業況が上向いており、改善の兆しが見えるものの、依然としてマイナス圏にあり、まだまだ新型コロナウイルスの影響が続いているとみられます。

[2021年1月～3月期予想]：全地域および地域別で若干の低下

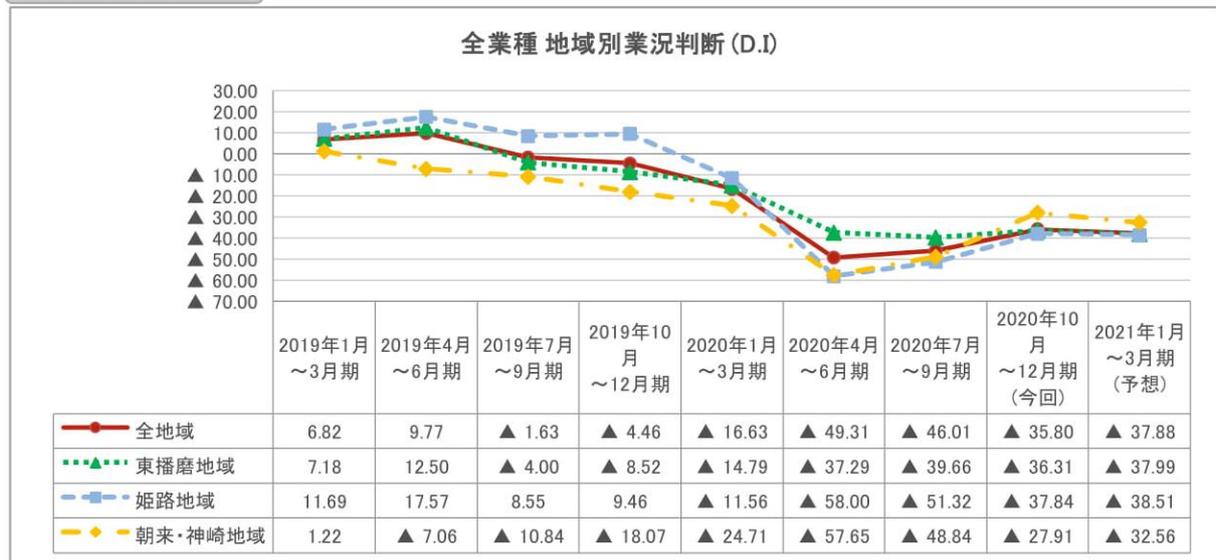
来期の全地域・全業種における予想業況 D.I は▲37.88 で、今期から 2.08 ポイント低下する予想です。東播磨地域は、1.68 ポイント低下の▲37.99、姫路地域では 0.67 ポイント低下の▲38.51、朝来・神崎地域でも 4.65 ポイント低下の▲32.56 と、地域別でもマイナスの予想となっています。また、人手過不足 D.I は▲10.93 と 0.98 ポイント低下する予想です。

今期の調査結果を前期比で見ると地域別、業種別ともに改善が見られますが、来期の予想は、建設業が上向き、それ以外の全業種が横ばい、もしくは若干の低下となっています。

地域別業況



地域別業況の推移



《福崎町商工会》

(全業種)	2020年 7月～9月期	2020年 10月～12月期	2021年 1月～3月期予想
業況	▲71.43	▲85.71	▲71.43
売上額	▲85.71	▲71.43	▲57.14
収益	▲71.43	▲85.71	▲85.71
売上単価	▲42.86	▲14.29	▲42.86
仕入単価	42.86	0.00	0.00
資金繰り	▲14.29	▲28.57	▲28.57
従業員	▲57.14	▲14.29	0.00
外部人材	0.00	▲14.29	▲14.29

[2020年10～12月期]：低下傾向にあり厳しい状況

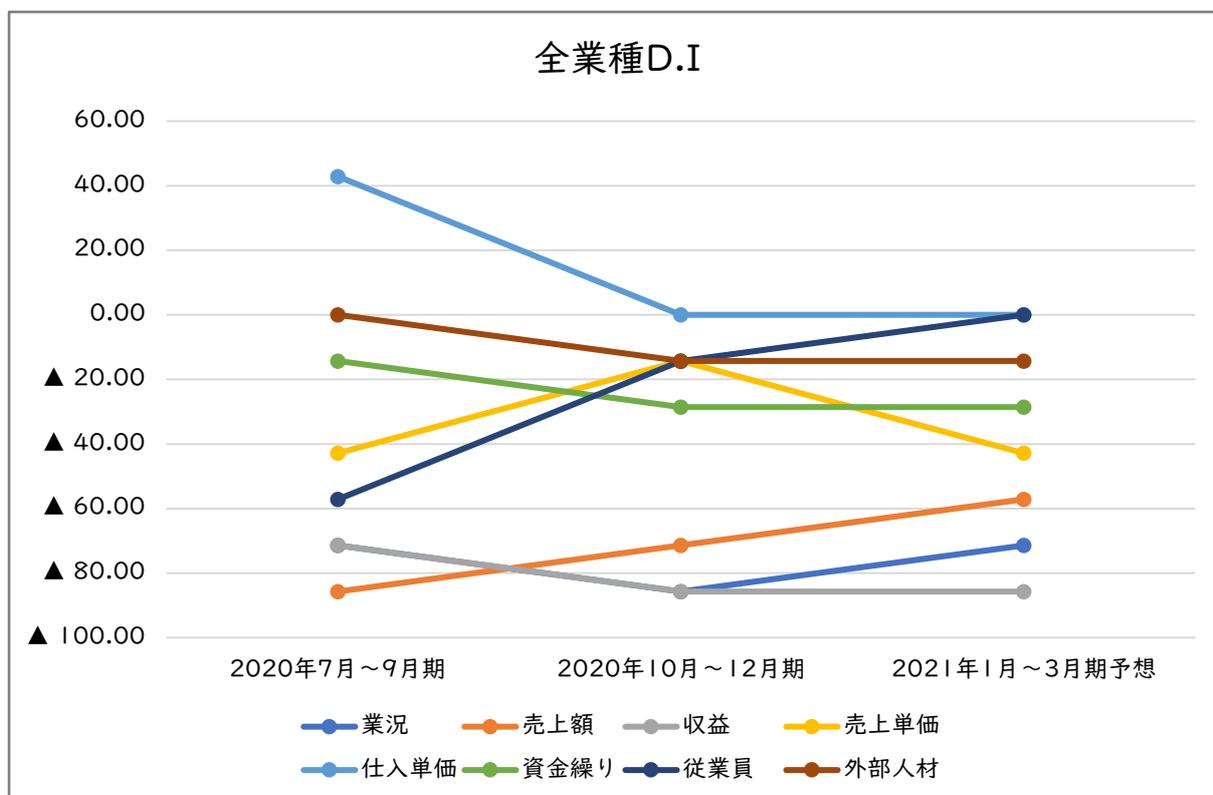
当期の業況 D.I は▲85.71 となり、前期の▲71.43 ポイントから 14.28 ポイント低下しました。

また、収益・仕入れ単価・資金繰り・外部人材に関する D.I が低下と厳しい状況、一方で売上額・売上単価・仕入単価・従業員に関する D.I は上昇しました。

[2021年1～3月期]：上昇傾向であるが、ほぼ変わらず依然厳しい予想

来期の予想業況 D.I は▲71.43 で上昇予想です。ただし、マイナスであることには変わりがなく、依然厳しい業況の予想です。

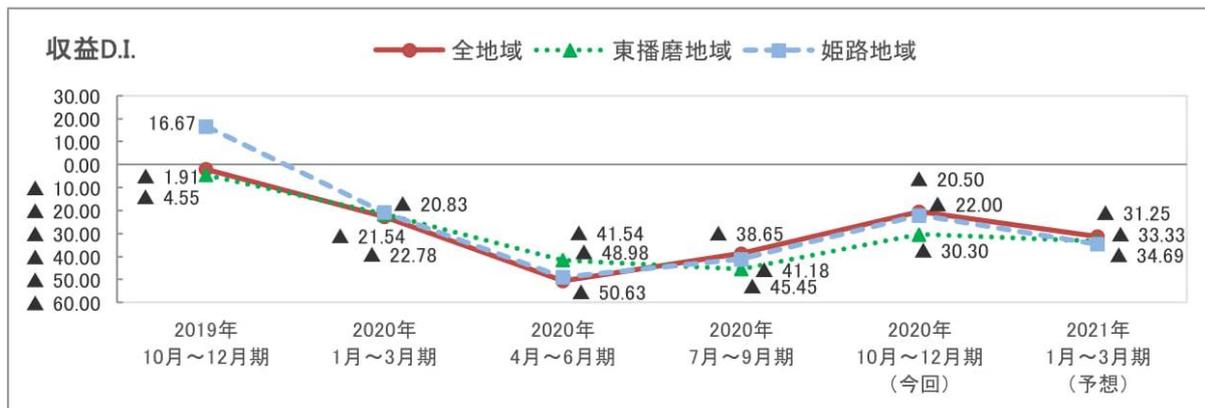
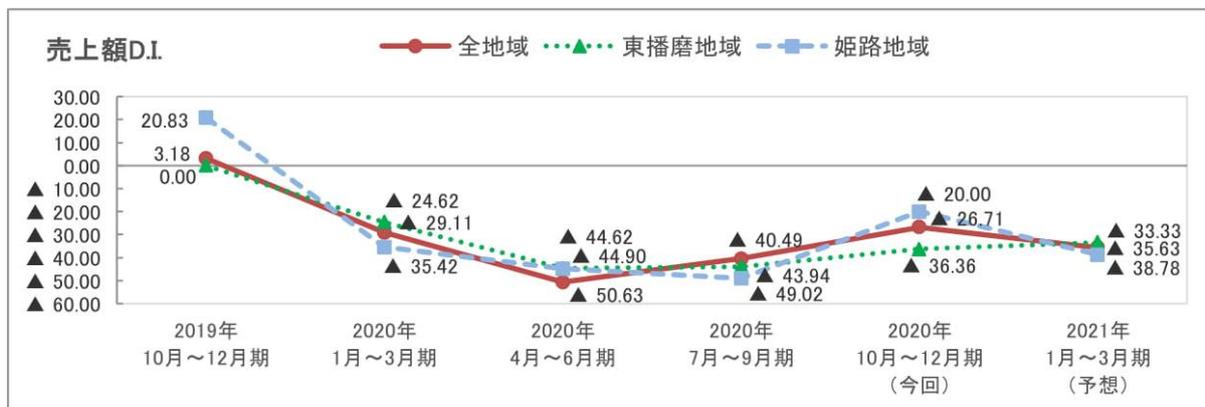
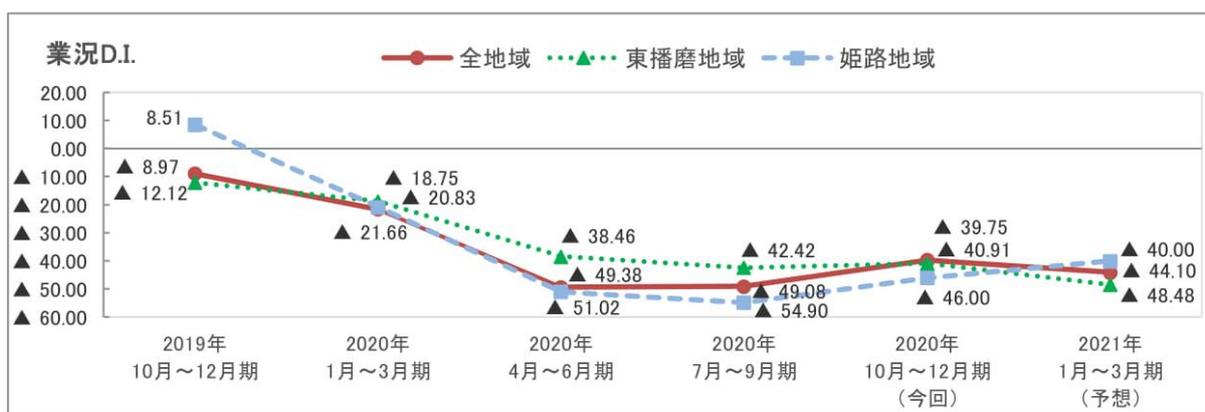
売上額・従業員に関する D.I が上昇し、売上単価に関する D.I が低下する予想です。



3. 業種ごとの集計《但陽信用金庫》

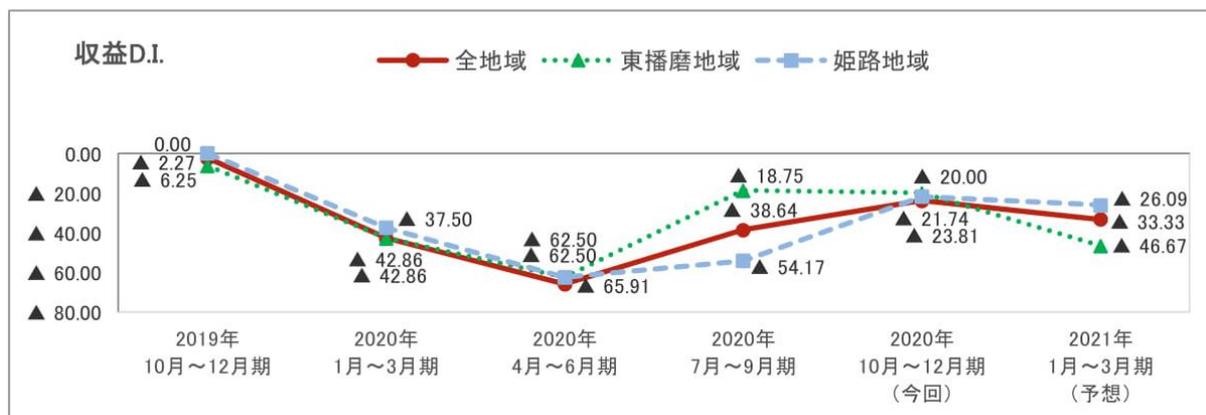
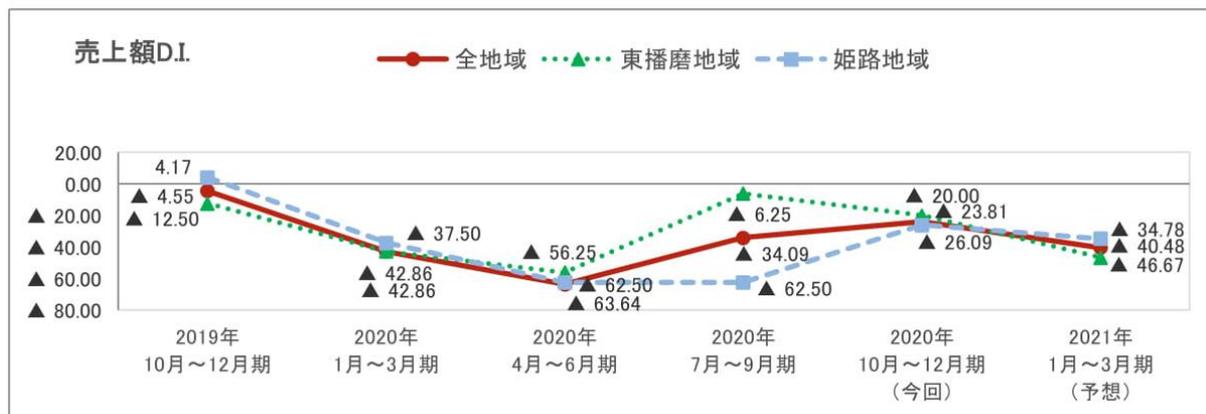
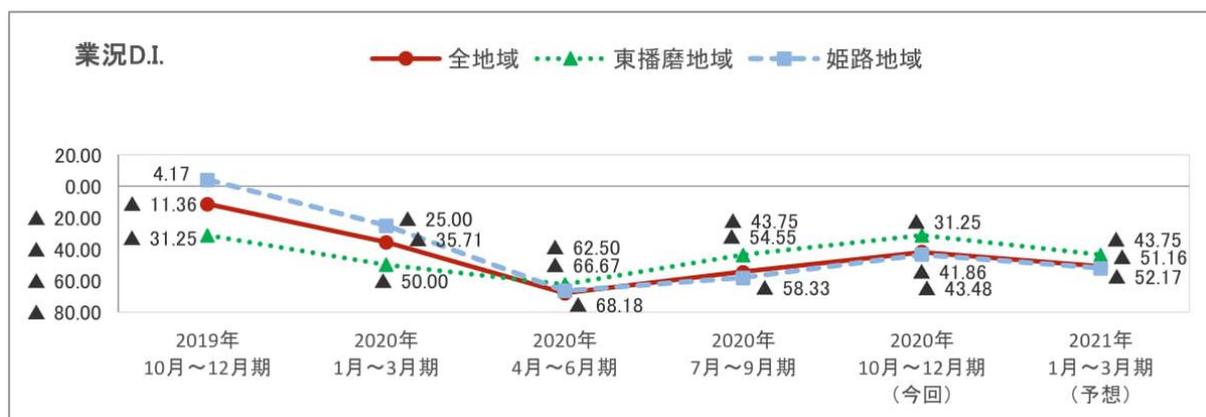
(1) 製造業

製造業	全地域 (161社)			東播磨地域 (66社)			姫路地域 (50社)			
	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期(今回)	2021年1月~3月期(予想)	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期(今回)	2021年1月~3月期(予想)	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期(今回)	2021年1月~3月期(予想)	
業況D.I.	▲49.08	▲39.75	▲44.10	▲42.42	▲40.91	▲48.48	▲54.90	▲46.00	▲40.00	
売上額D.I.	▲40.49	▲26.71	▲35.63	▲43.94	▲36.36	▲33.33	▲49.02	▲20.00	▲38.78	
受注残D.I.	▲41.36	▲23.60	▲29.38	▲48.48	▲33.33	▲33.33	▲49.02	▲20.00	▲34.69	
収益D.I.	▲38.65	▲20.50	▲31.25	▲45.45	▲30.30	▲33.33	▲41.18	▲22.00	▲34.69	
販売価格D.I.	▲4.29	▲5.59	▲5.59	▲4.55	▲6.06	▲7.58	▲5.88	▲6.00	▲4.00	
原材料価格D.I.	0.61	4.38	3.75	0.00	9.23	6.15	0.00	4.00	2.00	
原材料在庫D.I.	▲2.45	▲0.62	1.88	▲4.55	6.06	4.55	3.92	▲10.00	0.00	
資金繰りD.I.	▲1.84	6.21	1.86	▲10.61	▲3.03	▲6.06	1.96	10.00	6.00	
前年比残業時間D.I.	▲43.56	▲32.92	▲29.19	▲37.88	▲33.33	▲31.82	▲49.02	▲26.00	▲30.00	
人手過不足D.I.	4.29	▲3.73	▲3.73	9.09	16.67	16.67	▲5.88	▲26.00	▲26.00	
設備D.I.	▲11.04	▲12.50	▲10.76	▲1.52	▲1.52	▲1.52	▲13.73	▲20.00	▲20.00	
設備投資実施割合	24.56	25.88	22.94	22.54	21.43	17.39	13.21	17.65	24.07	
前年同期比	売上額	▲54.60	▲50.31	-	▲46.97	▲43.94	-	▲62.75	▲52.00	-
	収益	▲53.99	▲49.69	-	▲46.97	▲46.97	-	▲60.78	▲52.00	-



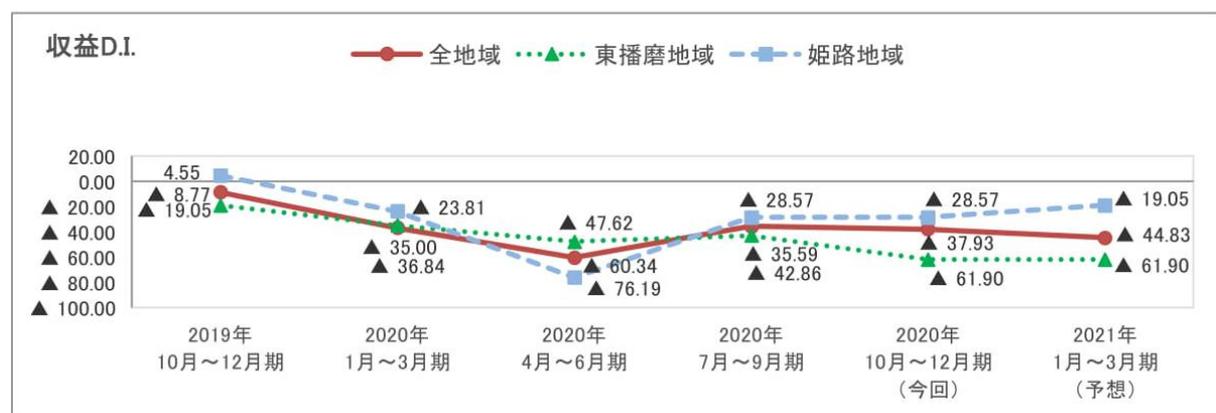
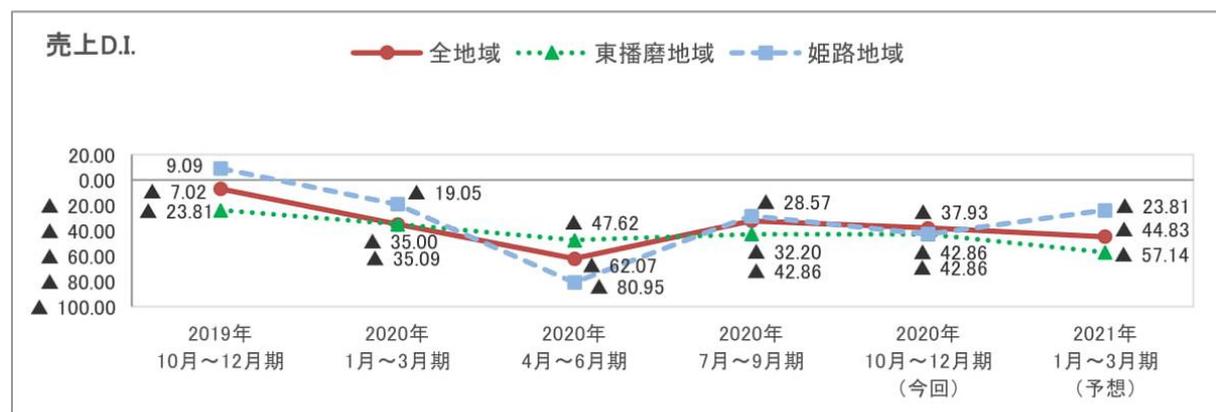
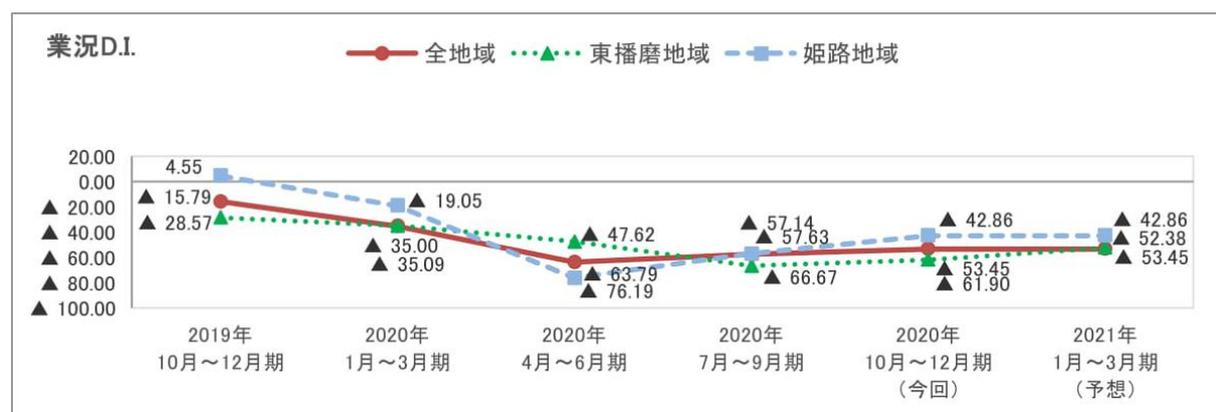
(2) 卸売業

卸売業	(43社) 全地域			(16社) 東播磨地域			(23社) 姫路地域			
	2020年7月～9月期	2020年10月～12月期(今回)	2021年1月～3月期(予想)	2020年7月～9月期	2020年10月～12月期(今回)	2021年1月～3月期(予想)	2020年7月～9月期	2020年10月～12月期(今回)	2021年1月～3月期(予想)	
業況 D.I.	▲54.55	▲41.86	▲51.16	▲43.75	▲31.25	▲43.75	▲58.33	▲43.48	▲52.17	
売上額 D.I.	▲34.09	▲23.81	▲40.48	▲6.25	▲20.00	▲46.67	▲62.50	▲26.09	▲34.78	
収益 D.I.	▲38.64	▲23.81	▲33.33	▲18.75	▲20.00	▲46.67	▲54.17	▲21.74	▲26.09	
販売価格 D.I.	▲15.91	▲18.60	▲18.60	▲18.75	▲12.50	▲25.00	▲8.33	▲21.74	▲17.39	
仕入価格 D.I.	0.00	▲4.65	▲6.98	6.25	0.00	▲12.50	▲4.17	▲8.70	▲4.35	
在庫 D.I.	11.36	9.30	7.14	25.00	12.50	12.50	4.17	8.70	4.55	
資金繰り D.I.	▲18.18	▲18.60	▲14.63	▲31.25	▲31.25	▲31.25	▲8.33	▲13.04	▲9.52	
前年比残業時間 D.I.	▲36.36	▲9.30	▲11.90	▲18.75	▲12.50	▲25.00	▲50.00	▲13.04	▲4.55	
人手過不足 D.I.	▲4.55	▲4.65	▲7.14	▲6.25	▲12.50	▲12.50	▲8.33	0.00	▲4.55	
設備 D.I.	▲11.36	▲11.63	▲9.30	▲12.50	▲18.75	▲18.75	▲12.50	▲8.70	▲4.35	
設備投資実施割合	18.18	19.05	13.95	18.75	18.75	17.65	20.83	22.73	13.64	
前年同期比	売上額	▲68.18	▲51.16	-	▲50.00	▲37.50	-	▲75.00	▲52.17	-
	収益	▲65.91	▲46.51	-	▲56.25	▲37.50	-	▲66.67	▲47.83	-
	販売価格	▲18.18	▲18.60	-	▲12.50	▲25.00	-	▲16.67	▲17.39	-



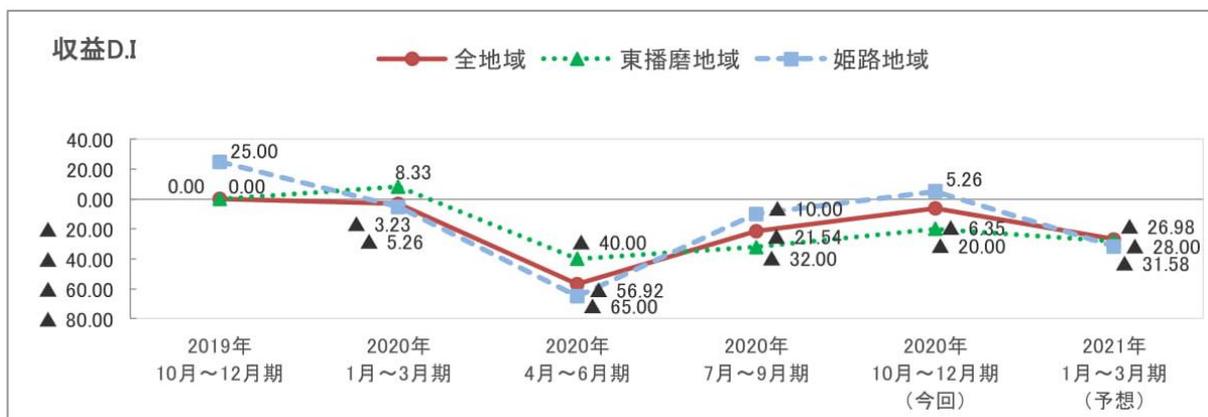
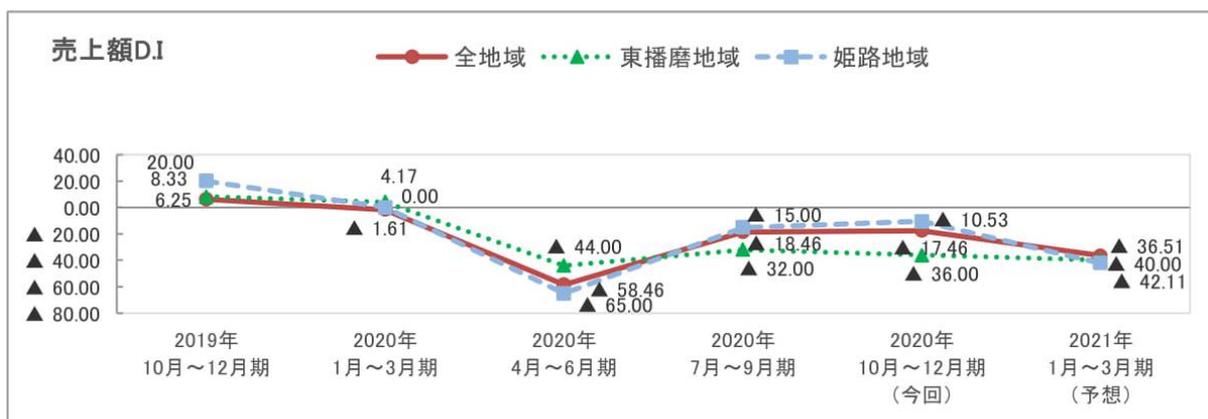
(3) 小売業

小売業	(58社) 全地域			(21社) 東播磨地域			(21社) 姫路地域			
	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期(今回)	2021年1月~3月期(予想)	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期(今回)	2021年1月~3月期(予想)	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期(今回)	2021年1月~3月期(予想)	
業況D.I.	▲57.63	▲53.45	▲53.45	▲66.67	▲61.90	▲52.38	▲57.14	▲42.86	▲42.86	
売上額D.I.	▲32.20	▲37.93	▲44.83	▲42.86	▲42.86	▲57.14	▲28.57	▲42.86	▲23.81	
収益D.I.	▲35.59	▲37.93	▲44.83	▲42.86	▲61.90	▲61.90	▲28.57	▲28.57	▲19.05	
販売価格D.I.	▲13.56	▲10.34	▲17.24	▲9.52	▲9.52	▲33.33	▲23.81	▲4.29	▲9.52	
仕入価格D.I.	0.00	▲1.72	▲5.17	▲4.76	▲4.76	▲28.57	▲4.76	▲4.76	▲4.76	
在庫D.I.	1.72	5.26	0.00	▲14.29	0.00	▲4.76	14.29	19.05	4.76	
資金繰りD.I.	▲6.78	▲12.07	▲6.90	▲9.52	▲19.05	▲19.05	4.76	4.76	9.52	
前年比残業時間D.I.	▲15.25	▲13.79	▲12.07	▲28.57	▲9.52	▲9.52	▲14.29	▲14.29	▲14.29	
人手過不足D.I.	▲6.78	▲6.90	▲8.62	▲4.76	▲14.29	▲19.05	0.00	0.00	▲4.76	
設備D.I.	▲11.86	▲13.79	▲10.34	▲9.52	▲14.29	▲9.52	▲14.29	▲9.52	▲9.52	
設備投資実施割合	14.81	13.79	20.69	15.79	19.05	36.36	21.05	14.29	9.52	
前年同期比	売上額	▲64.41	▲62.07	-	▲71.43	▲61.90	-	▲85.71	▲57.14	-
	収益	▲64.41	▲60.34	-	▲66.67	▲61.90	-	▲76.19	▲52.38	-
	販売価格	▲16.95	▲8.62	-	▲19.05	▲9.52	-	▲28.57	▲19.05	-



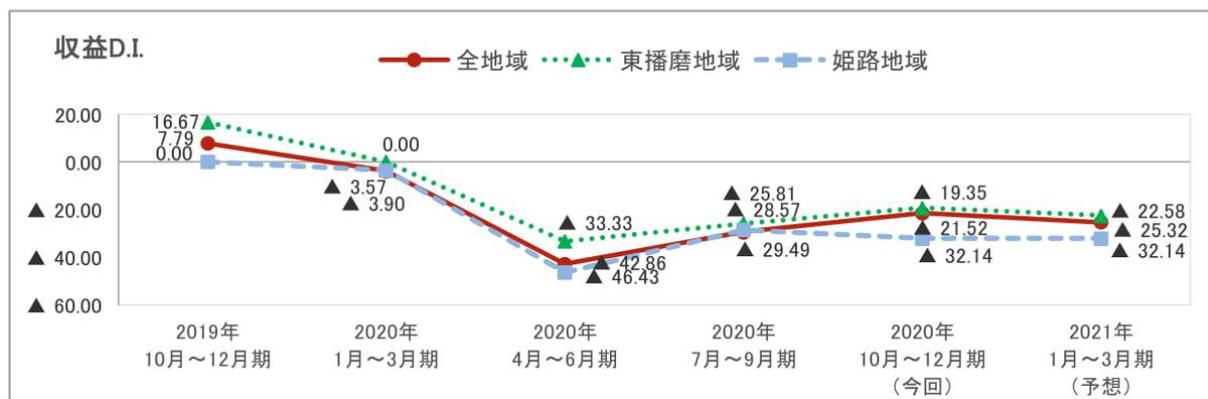
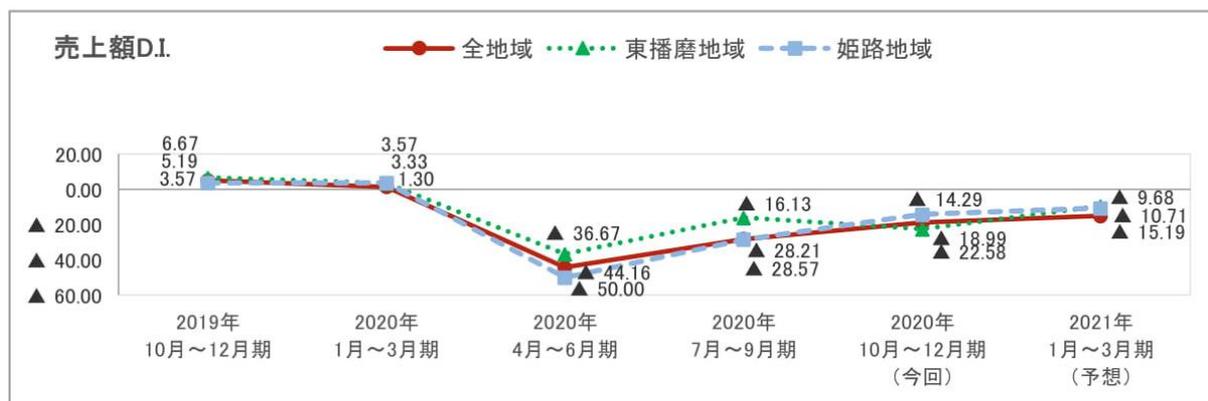
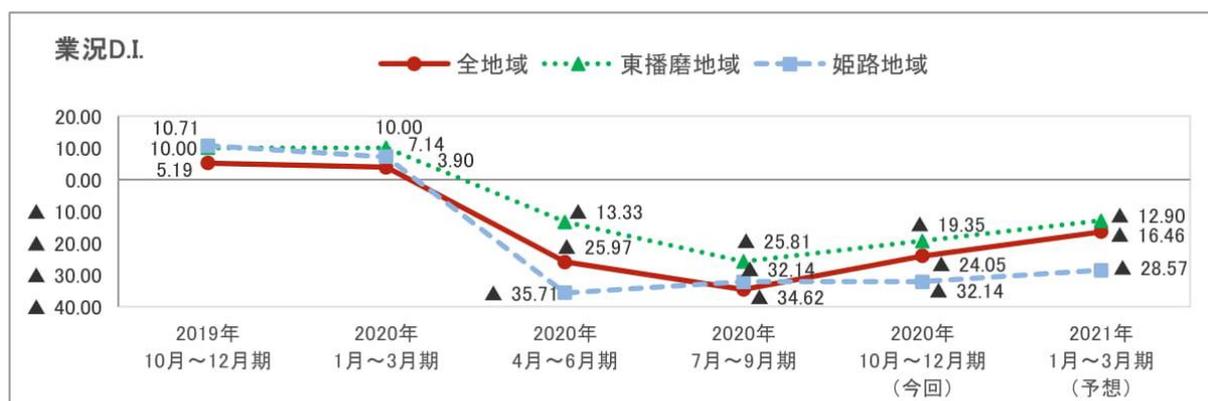
(4) サービス業

サービス業	(63社) 全地域			(25社) 東播磨地域			(19社) 姫路地域			
	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期(今回)	2021年1月~3月期(予想)	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期(今回)	2021年1月~3月期(予想)	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期(今回)	2021年1月~3月期(予想)	
業況D.I.	▲38.46	▲28.57	▲34.92	▲28.00	▲36.00	▲36.00	▲50.00	▲26.32	▲42.11	
売上額D.I.	▲18.46	▲17.46	▲36.51	▲32.00	▲36.00	▲40.00	▲15.00	▲10.53	▲42.11	
収益D.I.	▲21.54	▲6.35	▲26.98	▲32.00	▲20.00	▲28.00	▲10.00	5.26	▲31.58	
料金価格D.I.	▲3.08	0.00	▲1.59	▲4.00	4.00	4.00	▲10.00	0.00	0.00	
材料価格D.I.	1.54	▲1.59	1.59	0.00	0.00	4.00	5.00	0.00	5.26	
資金繰りD.I.	▲7.69	▲1.59	▲4.76	0.00	4.00	4.00	▲15.00	▲5.26	▲15.79	
前年比残業時間D.I.	▲24.62	▲19.05	▲17.46	▲32.00	▲28.00	▲24.00	▲25.00	▲10.53	▲15.79	
人手過不足D.I.	▲12.31	▲14.29	▲12.70	▲4.00	▲20.00	▲20.00	▲20.00	▲21.05	▲15.79	
設備D.I.	▲4.62	▲9.68	▲4.84	▲4.00	▲4.00	0.00	▲5.00	▲21.05	▲10.53	
設備投資実施割合	30.88	30.30	32.39	19.23	24.00	25.93	35.00	31.58	25.00	
前年同期比	売上額	▲47.69	▲38.10	-	▲32.00	▲52.00	-	▲55.00	▲31.58	-
	収益	▲50.77	▲31.75	-	▲28.00	▲40.00	-	▲60.00	▲21.05	-



(5) 建設業

建設業	(79社) 全地域			(31社) 東播磨地域			(28社) 姫路地域			
	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期(今回)	2021年1月~3月期(予想)	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期(今回)	2021年1月~3月期(予想)	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期(今回)	2021年1月~3月期(予想)	
	業況D.I.	▲34.62	▲24.05	▲16.46	▲25.81	▲19.35	▲12.90	▲32.14	▲32.14	▲28.57
売上額D.I.	▲28.21	▲18.99	▲15.19	▲16.13	▲22.58	▲9.68	▲28.57	▲14.29	▲10.71	
受注残D.I.	▲23.08	▲17.72	▲18.99	▲16.13	▲12.90	▲25.81	▲21.43	▲28.57	▲25.00	
施工高D.I.	▲24.36	▲10.13	▲17.72	▲19.35	▲6.45	▲25.81	▲28.57	▲21.43	▲21.43	
収益D.I.	▲29.49	▲21.52	▲25.32	▲25.81	▲19.35	▲19.35	▲22.58	▲28.57	▲32.14	
請負価格D.I.	▲14.10	▲15.19	▲18.99	▲6.45	▲16.13	▲16.13	▲17.86	▲17.86	▲25.00	
材料価格D.I.	7.69	6.33	0.00	12.90	6.45	6.45	10.71	0.00	▲10.71	
在庫D.I.	▲7.69	▲2.53	▲7.59	▲3.23	0.00	▲6.45	▲14.29	▲7.14	▲10.71	
資金繰りD.I.	▲1.28	▲1.27	▲2.56	9.68	9.68	9.68	▲3.57	▲17.86	▲18.52	
前年比残業時間D.I.	▲24.36	▲26.58	▲24.05	▲12.90	▲22.58	▲25.81	▲42.86	▲28.57	▲25.00	
人手過不足D.I.	▲23.68	▲21.79	▲25.64	▲33.33	▲32.26	▲35.48	▲29.63	▲29.63	▲33.33	
設備D.I.	▲1.28	▲1.27	▲1.27	0.00	3.23	3.23	▲3.57	▲3.57	▲3.57	
設備投資実施割合	18.99	8.86	10.26	19.35	0.00	3.23	18.52	7.69	15.38	
前年	売上額	▲42.31	▲31.65	-	▲25.81	▲16.13	-	▲57.14	▲46.43	-
同期比	収益	▲44.87	▲37.97	-	▲25.81	▲29.03	-	▲64.29	▲50.00	-



(6) 不動産業

不動産業	全地域 (29社)			東播磨地域 (20社)			姫路地域 (7社)			
	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期 (今回)	2021年1月~3月期 (予想)	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期 (今回)	2021年1月~3月期 (予想)	2020年7月~9月期	2020年10月~12月期 (今回)	2021年1月~3月期 (予想)	
業況D.I.	▲40.00	▲17.24	▲17.24	▲35.00	▲25.00	▲25.00	▲62.50	0.00	0.00	
売上額D.I.	▲23.33	▲10.34	▲10.34	▲10.00	▲5.00	▲15.00	▲50.00	▲14.29	0.00	
収益D.I.	▲30.00	▲13.79	▲3.45	▲20.00	▲10.00	▲10.00	▲50.00	▲28.57	14.29	
販売価格D.I.	▲6.67	▲13.79	▲3.45	▲10.00	▲10.00	▲5.00	0.00	▲28.57	0.00	
仕入価格D.I.	0.00	10.34	0.00	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
在庫D.I.	3.33	▲13.79	3.45	15.00	▲5.00	5.00	▲25.00	▲42.86	0.00	
資金繰りD.I.	0.00	10.34	6.90	0.00	5.00	5.00	0.00	28.57	14.29	
前年比残業時間D.I.	▲6.67	▲3.45	0.00	5.00	0.00	0.00	▲37.50	▲14.29	0.00	
人手過不足D.I.	▲13.33	▲17.24	▲17.86	▲15.00	▲25.00	▲26.32	▲12.50	0.00	0.00	
前年同期比	売上額	▲33.33	▲3.45	-	▲20.00	▲5.00	-	▲75.00	▲14.29	-
	収益	▲43.33	▲6.90	-	▲30.00	▲5.00	-	▲87.50	▲14.29	-

